

対象クラス	第2学年 ビジネス科 事務会計コース 選択者	単位数	3
使用教科書	原価計算（実教出版）		
使用副教材	完全段階式標準検定簿記問題集1級 原価計算（東京法令） 全商簿記実務検定模擬試験問題集1級 原価計算（実教）		

「原価計算」とはこんな科目です。
 原価計算とは、製品を製造するために必要な費用を計算する手続きのことを言います。これは工業簿記とも言い、製造業における製品ができるまでの過程を簿記にしたものです。原価計算を学ぶことで、企業経営における会計や役割をより広い角度から把握することができます。

- 科目の到達目標(目標とする検定等)
- ・製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得し、原価の概念について理解します。
 - ・原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を身に付けます。
 - ・全国商業高等学校協会主催の「全商簿記実務検定 1級原価計算」を取得することを目標とします。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	・製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識関心がありそして身に付け、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造が理解できているか。	・宿題 問題集 ノート ・プリントの提出 小テスト ・単元テスト 定期考査 ・検定の成績
思考・判断・表現	3	・各種の原価計算の方法や記帳方法、原価情報の活用について、自ら考え、基礎的・基本的な知識と技術をかつようして適切な判断ができるか。	・宿題 問題集 ノート ・プリントの提出 ・小テスト 単元テスト ・定期考査 検定の成績
主体的に学習に取り組む態度	3	・製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、自ら学ぶ態度および組織の一員としてビジネスの諸活動を計数的に把握し、記帳・決算など適正な取引の記録と財務諸表の作成に責任をもって取り組む態度が身に付いている。	・授業態度 宿題 問題集 ・ノート ・プリントの提出 ・小テスト単元テスト ・定期考査 検定試験

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第1章 原価計算の基礎 第2章 【前期中間考査】	原価と原価計算 原価罫線のあらまし 工業簿記 材料費の計算 労務費の計算 経費の計算	・原価計算の意味と工業簿記の基礎について学習し、理解します。 ・原価の3要素である材料費・労務費・経費についての記帳と手続きについて理解します。計算や記帳方法についても理解します。
前期期末	第3章 原価の部門別計算と製品別計算 【前期期末考査】	個別原価計算 部門別個別原価計算 総合原価計算 工程別原価計算 総合原価における減損仕損じの処理	・個別原価計算の基礎を学習し、部門別計算を行う場合との違いを理解します。 ・総合原価計算の基礎を学習し、工程別計算を行う場合との違いを理解します。 ・原価計算の違いは、個別受注生産と連続的大量生産との違いであることを理解します。
後期中間	第4章 製品の完成・販売と決算 第5章 標準原価計算の基礎 【後期中間考査】	製品の完成と販売 決算と本社・工場間の取引 標準原価計算(その1) 標準原価計算(その2)	・製品完成、販売における記帳手続き、工場会計が本社会計から独立している場合の記帳法について理解します。 ・原価管理に役立つ資料を提供する標準原価計算の意味と手続きについて理解します。

<p>学 年 末</p>	<p>第6章 直接原価計算の 基礎 【全商簿記検定試験】 【学年末考査】</p>	<p>直接原価計算(その1) 直接原価計算(その2) 検定対策問題・模擬問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利益計画に役立つ資料を提供する直接原価計算について理解します。 ・全商簿記検定に向けて問題の傾向と対策を立て、問題演習に取り組みます。 ・来年度に向けての課題を見つけます。
----------------------	--	--	---